

きな一歩となる。「視覚障害者の発想はヒモ（線）の発想なのです。点字で読んでいくものですから平面的な発想もしにくいのです。まして立体的な思考はととてもとても……。でもそんな機器がほしいですね。」「点字が読める人は全体の2割にも達しません。多くの人が自分の狭い世界に閉じこもっているのです。」こうした現状を聞くと、この福祉機器開発プロジェクトのあるべき姿が見えてくる。視覚障害者だけでなく、今後は様々な障害

を持つ人々との協同ネットワークをつくり上げながら、必要とされる商品の提供にとどまらず、労働の場、雇用の場の提供も出来るような役割が担えるようになりたいし、このプロジェクトに参加する、障害者もそうでない人も誰もが視野を広げ、世界を広げられるような関係をつくりたい、と考えている。

「音声体温計」は初めの一歩である。

## 「第3回会員総会」「協同政策研究交流集会」のお知らせ

### 《第3回会員総会》

日時 1993年6月26日（土） 14：00～18：00  
13：30開場  
会場 日本青年館（東京・青山）  
内容 第1部：92年度事業総括、決算、93年度事業計画、予算  
第2部：ベーク報告をめぐる総括討論、各地の活動報告と討議  
※引き続き夜には「レセプション」を行ないます。

### 《協同政策研究交流集会》

日時 1992年6月27日（日） 9：00～16：00  
開場 日本青年館（東京・青山）  
内容 分科会①ごみ・環境問題、②高齢者協同組合、③法制、④教育・文化協同組合  
※宿泊ご希望の方は青年館で用意してありますので、ご連絡下さい。詳しくは別途案内状を送付予定。または次号（14号）を参照のこと。  
※なお第2回全国理事会を5月8日（土）11：00～16：00、全共連ビル（東京・永田町）にて開催。

## 受贈図書文献

1992年10月より12月

### 単行本

- 大内力監修、生協総合研究所編集『協同組合の新世紀—生協運動の新たな発展をもとめて』（コープ出版、92年12月）
- 栗田健編著『現代日本の労使関係』（労働科学研究所出版部、92年8月）
- 姉崎繁、草間俊夫、増田壽男編著『危機における現代経済の諸相』（八潮社、92年5月）
- 真田是編集代表、日本の福祉はこれでいいのか編集委員会編『日本の福祉はこれでいいのか』（あけび書房、92年10月）
- 鈴木敏正『自己教育の論理—主体形成の時代に』（筑波書房、92年11月）
- 川端正久、佐々木建編『南部アフリカーポスト・

アパートメントと日本』（勁草書房、92年7月）  
○根井康之『西田哲学で現代社会を観る』（農山漁村文化協会、92年9月）

### 定期刊行物

- 『障害者のゆたかな未来をめざして』（月刊）第122号～125号（愛知県・ゆたか福祉会、92年7月～10月）

### 文献・資料

- 角瀬保雄「転機に立つスペイン・モンドラゴン協同組合」（『法制大学経営学会・経営志林』第29巻第2号、92年7月、抜刷）
- 子どもたちの生協運動研究会（名古屋勤労市民生協内）「きっず・こーぶ」（91年10月）



- 京都生活協同組合「コーポロ」第333号(92年8月)
- 京都生活協同組合広報室「こおーあっぷ(京都生協部内報)」第279号(92年7月)
- 京都協同組合運動研究会「京都協同組合運動研究会会報」第6号(92年8月)
- 長野県厚生連労働組合「ヨーロッパ医療・協同組合視察、第3回医療研究集会、報告集」(92年7月)
- 兵庫県農業協同組合中央会「JAの窓Ⅲ」(92年7月)
- 中小企業家同友会全国協議会「中同協第49号—第24回定時総会特集号」(92年10月)
- 自交総連大分地方連合会「自交大分」92年10月1日号
- 自交総連大分地連「自主経営ニュース」92年10月31日号、11月30日号、12月21日号
- 自交総連大分地連「自主経営情報」第1号～8

- 号(92年10月5日～12月14日)
- ゆたか福祉会、全国福祉保育労働組合ゆたか福祉会分会「ゆたか福祉会における労働組合の歴史と民主経営」(92年9月)
- 青森県国民教育研究所「教育情報青森」第90号(92年7月)
- 第3回地域から子育て・教育を考える東京集実行委員会「東京の地域から子育て・教育を考える」(91年11月)
- 高知県高校生ゼミナール連絡会「出会いの旅—地域の在日朝鮮人問題を追う高校生たち」(92年8月)
- 建築設計支部自営分会「コープ月刊情報」第16号(91年11月)
- 私たちの洗濯機づくり研究会「たらい回し(洗濯機研究会レポート)」創刊準備号、創刊号、第2号(92年10月～12月)

## 研究所日誌

1993年3月

- 6日 第5回常任理事会<目黒区民センター>。第5回ベーク報告連続シンポジウム・日本の第一次産業をどう守るか、報告：西浦正晴(紀ノ川農協)、菊間満(山形大学)<目黒区民センター>。
- 8日 韓国半月信用協同組合、李健雨氏来所。韓国における労働者協同組合運動の可能性と協同総研構想について懇談。  
千葉エルコープ、半田守孝氏来所。生協職員への教育研修活動について意見交換。
- 15日 山梨病院図書研究グループ、岡部氏来所。山梨での病院図書館づくりと高齢者協同組合の可能性について意見交流。
- 17日 生活クラブ生協千葉、中村輝氏来所。モンドラゴン協同組合への調査に関して懇談。
- 18日 福祉機器開発プロジェクト会議<研究所>。全日本視覚障害者協議会の方々も参加して、意見交流。
- 22日 労働者協同組合グループ幹事会<東京・C & C事務所>。各構成事業体の現状と事業計画構想・法人格問題・事務局体制などで報告、討議。  
洗濯機研究会<東京・パルク自由学校>。試作品づくりと販売普及にかかわる事業体の構想について。  
北海道協同集第3回実行委員会(手島繁一、菅野正純)<札幌>。
- 24日 『協同の発見』第12号、発行。
- 25日 第3回企画運営委員会<研究所>。来期の委託研究と財政を中心とした事業構想について討議、検討。
- 27日 黄柳野高校設立準備委員会、よびかけ人会議(黒川俊雄)<豊橋>。寄付金活動の取り組みについて。  
「考えてみよう長野での協同を第3回集会」第1回実行委員会(内山哲朗)<長野>。
- 30日 民主主義科学者協会法律部会、春季合宿研究会(菊間満、菅野正純)<福島>。